

各部会報告

- ・子ども部会(P2-4)
- ・就労部会(P5-7)
- ・相談支援部会(P8-9)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P10-12)

子ども部会活動報告（令和4年度第3回）

1 部会の目的

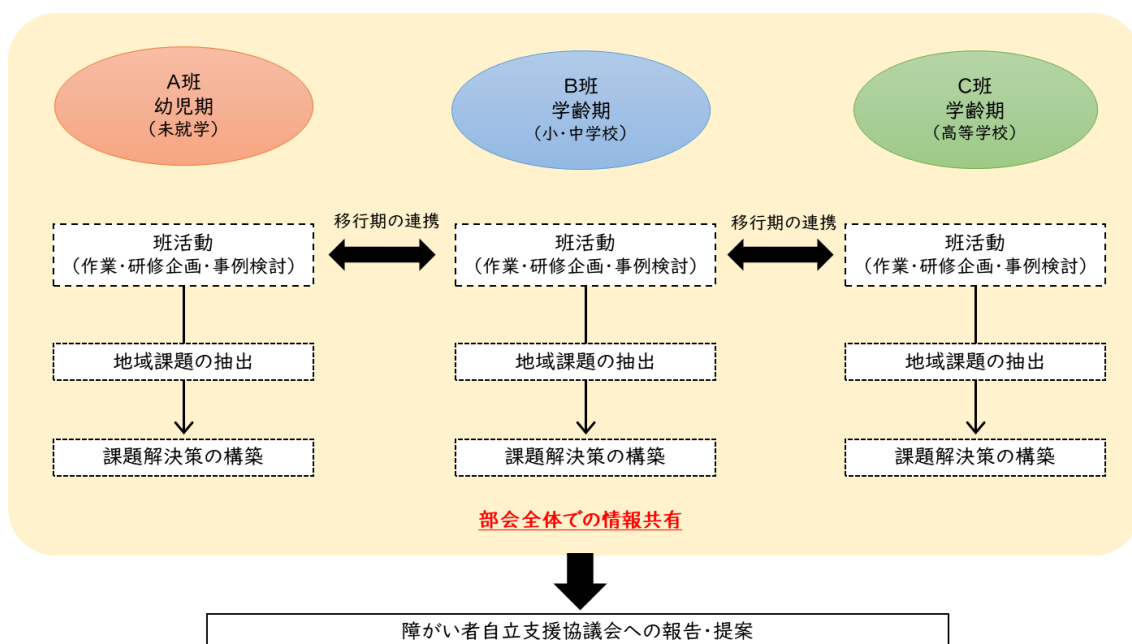
障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

2 令和4年度の運営体制

ライフステージに応じた班体制を引き続き維持する。

また、毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）



3 令和4年度の実績（令和4年12月末時点）

（1）取組内容

① A班（未就学児が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：学校、保育機関への移行支援

（取組予定）

- ・ 就学時の移行支援
- ・ 保育所等訪問支援事業（アンケート実施）
- ・ 令和3年度作成のリーフレットの配付及び利用状況の確認

（取組実績）

- ・ 教育相談室との意見交換を実施。
⇒教育相談室の役割の確認や移行時の課題の整理を行っている。
- ・ 保育所等訪問支援事業に係るアンケートの実施
⇒集約した回答データの整理を行っている。
- ・ 令和3年度作成のリーフレットの見直し・修正
⇒各区保健子ども課からの意見を参考に見直しを行っている。
配布先は各区保健子ども課、福祉課、障がい者相談支援センターなどの関係機関を予定している。

② B班（小・中学生が主な対象 ※移行期の連携も含む）

テーマ：学齢期のアンケートを踏まえ課題の検証と情報提供のあり方を検討する

（令和4年度取組予定）

- ・ アンケート調査実施及び検証
- ・ 移行期に関するリーフレット作成

（令和4年度取組実績）

- ・ 保護者へのニーズ調査のためのアンケートを実施。
⇒回答データの集計を終えて、アンケート結果を元に課題の抽出を行った。
本会議に反映するための課題の整理を行っているところ。
- ・ 幼稚園・保育園—小学校の移行期のフローチャートを作成。
⇒現在は内容の検討を行っており、配布方法や広報の仕方などの調整をこれから行っていく。

③ C班（高校生が主な対象 ※卒業後の課題も含む）

テーマ：アンケートを通して見えてくる現状からの在学中、卒業後の生活支援と課題について

（令和4年度取組予定）

- ・学校アンケートの配送と集計、その活用について
- ・特別支援学校卒業後の実態調査
- ・就労含む生活支援に向けた KP5000 の円滑な活用をするためには

（令和4年度取組実績）

- ・高校を対象とした障がいのある生徒へのサポートについてのアンケート調査を実施
⇒アンケート結果を集約し、現在は課題抽出および解決策等の提案のため作業を進めている。
- ・障がい者サポーター出前講座のチラシ（高等学校向け Ver.）を作成
⇒内容の最終確認を行っている。配布先は各高等学校を予定しており、障がい者相談支援センターと情報を共有する等の調整を行っている。
※KP5000 の円滑な活用については、来年度に取組を進める予定。

（2）振り返り

各班の進捗状況については、上記に記載しているとおりであるが、現時点では、アンケート結果の整理や調整を行っているところであり、アンケート結果やリーフレット等の成果物については、来年度の本会議にて報告できるよう準備を進めていきたい。

また、令和4年度の子ども部会はそれぞれの班でアンケートを実施し、現状把握のための1年になっている。サービスの利用者やその家族、サービス事業所、高等学校等を対象に調査を行うことで、実態の集約から課題抽出や課題の解決方法の検討と、部会の活動がより一層市民ニーズに寄り添うものになってきたと感じている。継続して実態を把握していくため、来年度以降も継続してアンケートの実施を行うとともに、課題の解決に向けた方策も提案できるよう検討を進めていきたい。

部会全体として、単発もしくは2～3回程度参加し、以降不参加となる方もいたため、班活動の安定的な運用に係る課題があった。新たな参加希望を受けた場合には、子ども部会の主旨や取組をしっかりと説明を行うことなどを検討していく。

就労部会活動報告（令和4年度第3回）

1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

2 令和4年度の取組

（1）運営体制

5つの班構成（企業就労班、ホッとワーク班、ワークイノベーション班、お悩み解決班、当事者対話班）で各班作業に取り組んでいる。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

（2）運営委員会開催状況

原則、毎月第2木曜日にオンライン（Zoom）開催しており、5つの班の代表者が集まって、部会の進め方等について意見交換を行っている。

（3）部会の開催実績

原則、毎月第1木曜日に開催しており、ミニ研修等と班活動を実施している。

	内容	参加人数
4月7日(木)	1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会について 2 くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁の紹介 3 班活動（年間計画の作成、就労フェア準備）	48名
5月12日(木)	1 班活動（就労フェア準備）	39名
6月2日(木) 【就労フェア】	①研修 （テーマ）企業における障がい者雇用について （講師）桜十字病院人事部 亀井貴史 氏 ②部会の各班の活動成果報告 令和3年度の各班における成果物の発表や活動状況について	60名
7月7日(木)	1 関係機関及び事業所における課題の共有と解決策について 2 班活動	39名
8月4日(木)	1 ミニ研修 「スターティアウィル株式会社における障がい者雇用について」 2 班活動	50名
9月1日(木)	1 ミニ研修 「スタッフサービス・クラウドワークの取組について」 2 班活動	50名

10月6日(木)	1 ミニ研修 「社労士のしゃべり場 in 就労部会」 2 班活動	33名
11月10日(木)	1 ミニ研修 「防災について」 2 班活動	35名
12月1日(木)	1 ミニ研修 「『自立』とは何か」 2 班活動	34名

(4) 各班の取組

①企業就労班

(目標) 一般企業への就労の可能性を広げる取り組みと啓発活動

- ・『しごといく vol.9』の作成
- ・企業就労やサポート企業・団体の啓発に向けた新たな取り組みの実施

②ホッとワーク班

(目標) 福祉事業所や関係機関の連携を深めるための活動、ツール作り、情報発信

- ・前年度制作した「相談先たどりつきチャート」の活用と改善
- ・事業所一覧の作成

③ワークイノベーション班

(目標) 障害福祉サービス事業所の課題を整理・共有し、解決策を検討する。

さらに、その課題と解決策(案)を熊本市に提言し、行政機関とともにより良い熊本の障害福祉サービス事業所づくりに取り組む

- ・課題の洗い出し・整理・共有(工賃向上等を含む)
- ・課題についての解決策の検討・解決策(案)の作成

④お悩み解決班

(目標) 就労支援に関するさまざまな問題点について、その解決に向けて検討する

- ・支援員が抱える事例についてのお悩み相談

⑤当事者対話班

(目標) 当事者会メンバーが主体となり、就労や生活・余暇について考える。

当事者の視点から支援者等と協働して就労について考える。

- ・「自立」とは何かを考える
- ・当事者と医療と福祉の関わりを考える
- ・『ふらっと新聞』等の作成

3 その他

例年実施している「就労フェア」を令和5年2月に開催予定。企業が参加しやすいように、オンラインでの開催を検討中。

<概要> ※予定

日 時：令和5年2月22日（水）15時～17時

開催方法：オンライン（ZOOM）

テ ー マ：「この街でともに働く」

内 容：①外部講師（「しごといく」取材企業から選定）による研修

②各班の成果発表

③就労部会15年間の取り組みについて 等

相談支援部会活動報告（令和4年度第3回）

1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

2 令和4年度の取組

(1) 運営体制

運営委員会のメンバーを3つの班編成（スキルアップ班、地域課題班、社会資源班）に分けて、各班で課題を整理して、取り組む内容を検討した企画を全体会において実施していく。

毎月の部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

(2) 取組内容

月毎に企画を実施する担当班を割り当てて、部会を進めている。

① スキルアップ班

- ・ 計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・ 実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の促進

② 地域課題班

- ・ 個別のニーズや課題を踏まえて個別の支援や課題解決の検討
- ・ 個別のニーズや課題から地域課題の抽出

③ 社会資源班

- ・ 地域の社会資源を収集、整理
- ・ 社会資源の情報の共有

【部会の実施内容】

	部会内容等	担当
5月17日	①令和4年度相談支援部会の体制について ②熊本市成年後見支援センターについて ③集団指導、報酬改定などの説明 ④インフォメーション	さいせい じょうなん 障がい保健福祉課
6月21日	①担当者会議について ②グループワーク ③インフォメーション	スキルアップ班
7月19日	①「個々のケースから考える地域課題について意見交換」 ②ヤングケアラーについて ③インフォメーション	地域課題班
8月16日	①KP5000を活用した情報共有について ②余暇の社会資源の情報共有 ③インフォメーション	社会資源班
9月20日	①成年後見制度について	スキルアップ班※
10月18日	①インフォメーション ②地域課題セッションについて ③グループワーク(80分)テーマ「短期入所の利用が困難」	地域課題班
11月20日	「地域づくりセッション」 10月の相談支援部会にて協議された「短期入所の利用が困難な事について」出たアイデアから「KP5000に情報を集約するためのプラン作成」と「ショートステイを受け入れる側への支援プラン作成」の2点にテーマを絞り、具体的なプランを作っていくグループワークを実施	地域課題班
12月20日	①インフォメーション ②移動支援に関する事業紹介 「自家用自動車有償運送について」 ③グループワーク ・「移動権」について理解・共感できたこと ・私たち相談支援専門員にもできること ・講義を聴いて、質問してみたいこと	社会資源班

※全て ZOOM を使用しリモートで実施。運営委員会（第1木曜日）、部会（第3火曜日）

精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和4年度第3回）

1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

2 令和4年度の実施状況

① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～5回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

② 取組内容

1、全体部会

今年度より、熊本市ピアサポート活用事業に登録しているピアサポーターにも全体部会への参加を呼び掛けており、地域移行支援がより当事者の意見を反映させたものになるよう取組を行っている。

6月14日 第1回全体部会開催（出席70名、ZOOM開催）

- 内容
- ・基礎研修、事業説明
 - ・年間計画、地域アセスメントについて
 - ・各区部会の報告
 - ・グループでの意見交換

9月13日 第2回全体部会開催（出席65名、ZOOM開催）

- 内容
- ・各区部会の報告
 - ・ピアサポーターとの意見交換（事前収録済み録画の放映）
 - ・グループでの意見交換、感想共有

12月13日 第3回全体部会開催（出席60名、ZOOM開催）

- 内容
- ・各区部会の報告
 - ・地域移行支援の流れについて説明
 - ・グループでの意見交換

2、区部会

今年度の取組テーマとして「地域アセスメント（地域診断）」をあげている。まずは区ごとの地域性や特性、医療体制や社会資源を把握し、地域の実情や課題を知ることが目標としている。それをもとに課題解消や地域の実情に応じた支援の体制づくりや取組を検討することをねらいとしている。

区部会開催状況は別紙資料1参照

3、コアメンバー会議

毎月コアメンバーが集まり、全体部会の企画運営、計画や方針の決定、区部会運営状況の把握と取組への助言を行っている。

参加者は部会長、副部会長、地域体制整備アドバイザー、精神保健福祉室。

3 今後の取組予定

1、全体部会

第1～3回まで終了、第4回目を2月に予定。

ピアサポーターの全体部会参加も定着してきており、会での意見交換も活発化している印象。第4回目には医師や看護師も交えた多職種での開催も予定しており、より重層的な支援体制が検討できるよう計画中。

2、区部会

各区年3～4回の開催を予定。

各区とも2～4回が終了しており、今年度のテーマである地域アセスメントについて具体的な取組を開始している区もある。今年度中に各区とも取組の方針が決まり、来年度に取組実施と結果分析ができるよう準備を整える。

3、コアメンバー会議

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。

令和4年度精神障がい者地域移行支援部会「区部会」活動実績

資料1

◆区部会開催状況、個別給付状況

	開催状況	参加者	個別給付件数、活動状況等	
東	2回 (7/21、11/28)	医療機関(4)、相談支援(基幹2、一般1)、 区役所(福祉課、保健子ども課)、AD、精神 保健福祉室	支援中：1 支援終了：1	①20代男(R4.5～10)退院しグループホーム入居。日中は就労継続 支援B型事業所に通所を開始。②40代女性、GHへの退院を希 望。日中はデイケアでの活動を検討中。
西	3回 (6/22、7/25、10/3)	医療機関(1)、相談支援(基幹1、一般1)、 区役所(福祉課、保健子ども課)、AD	支援中：2	50代女性、グループホームへ退院し就労など順調に経過してい たが、コロナ禍などによる余暇時間の制限など環境ストレスの影 響か状態悪化により再入院し加療中。
南	4回(5/20、8/24、 10/27、12/6)	医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、 区役所(福祉課、保健子ども課)、AD、精神 保健福祉室	0	地域診断を行うにあたり管内の精神科病院に対して調査を実施。 今後共有と分析を行い取組内容を検討する。また就労事業所(A 型・B型)との意見交換を予定しており連携を深める。
北	2回 (6/29、10/26)	医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、 区役所(福祉課、保健子ども課)、AD、精神 保健福祉室	支援中：3 支援終了：2	①長期入院中で家族調整が難しいケース(R4.5～10)②再犯歴のあ る方のケース(R4.6～)③治療抵抗性統合失調症の方のケース(R4.4 ～)④家族調整が難しいケース(R4.5～10)⑤関係機関等調整が難 しいケース(R4.11～)
中央	2回 (5/24、9/27)	医療機関(3)、相談支援(基幹2、一般2)、 区役所(保健子ども課)、AD、精神保健福祉 室	支援中：1 申請予定：1	①50代女性、病院巡回訪問時に相談があり制度利用開始。関係 機関調整や面談を開始している。②50代男性、GHへの退院を検 討しており今後申請予定。